

「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ 支援検討会 中間報告会・シンポジウムの開催

2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻から丸2年を迎えるにあたり、これまでの本県のウクライナ支援への取組状況に関する中間報告・発信を通じて、今なお戦禍の続くウクライナへの復興支援に関する機運醸成を図るため、中間報告会・シンポジウムを開催する。

● 開催日時・場所

2024年2月23日（金・祝）13:00～15:30

於：ラッセホール2階 ブランシュローズ（神戸市中央区中山手通4-10-8）

● 内容（予定）【日本語・ウクライナ語同時通訳】

1 本県のウクライナ支援の取組状況に関する報告

- ① 県内のウクライナ避難民に対する支援
- ② 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援の提言 中間とりまとめ

2 基調講演 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会座長 岡部芳彦

3 特別コンサート ウクライナの歌 非営利型一般社団法人芸術の森

4 パネルディスカッション

（テーマ）「地域発」・「公民連携」・「ひょうご」ならではのウクライナの復興支援
（パネリスト）

木村JICA関西所長、花村関西看護医療大助教、石原UNHCR法務官、齋藤知事

● 参加方法

県ホームページから事前に申し込み。

URL：<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1705897560280>

[定員]会場：100名、オンライン（zoom）配信：300名



JICAイベント「Connecting with Ukraine」 への出展

JICA主催のウクライナ関連イベントにブース出展し、本県のウクライナ支援の取組を発信。

● イベント趣旨

2月19日（月）に日本政府主催で開催される日・ウクライナ経済復興推進会議（仮称）に先立ち、日本とウクライナの未来を共に創る、ビジネス・パブリック・避難民支援・文化などの多くのセクターとアクターをつなぎ、橋を架けるJICA主催のイベント。＜来場見込み約700人程度＞

● 開催日時・場所

2024年2月15日（木）～17日（土） 於：ベルサール九段（東京都千代田区九段北1-8-10）

● 本県の出展内容（ブース出展）

本県のウクライナ支援に関するパネル展示

- 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会における検討状況
- ウクライナから本県への避難民に対する生活支援実績 等

（参考）その他の出展内容

ステージイベント

2月15日（木）：ウクライナ起業・輸出促進機構やベンチャーキャピタルの登壇
JICAによる民間企業に対する新しい支援スキームの紹介

2月16日（金）：ウクライナ中央省庁、自治体による情報発信
ウクライナのスタートアップ（10社程度）を招いたピッチイベント、

2月17日（土）：国内避難民支援のパネルディスカッション、文化交流関連イベント
ブース出展

ウクライナ支援に取り組む行政・企業・団体等 約50ブースを予定

(参考) ウクライナ支援に関する ふるさとひょうご寄附金の活用状況

本県へのウクライナからの避難民への生活支援や、兵庫の「創造的復興」の理念を活かした復興支援を行うため、ふるさとひょうご寄附金を活用

● 寄附の実績 (R5.12末時点)

5,361件 95,037千円 (R4 : 4,882件 76,819千円 R5 : 479件 18,218千円)

● 主な使途 (R5.12末時点)

1. 避難民支援

- ・ 本県への避難民の方への生活支援金 (生活費 : 上限12万円 / 世帯 × 12ヶ月 等) の給付 (支援実績 : 33世帯)
- ・ 日常生活コーディネーターによる支援 (医療通訳、行政手続き、就労相談等) (支援実績 : 373件) 等

2. 「創造的復興」の理念を活かした復興支援

- ・ 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会における支援内容の検討
- ・ ヲァーノフランク-ウシ州、ミコライウ州への支援のうち、早期に着手する義肢装具のリハビリ・こころのケアの専門人材の受入研修の具体化に向けた準備 等